

教会と音楽セミナー 第1回 総論：教会の変遷

ヨーロッパの街の中心には必ず教会があります。世界遺産の大聖堂だけでなく、どんな小さな町や村にも教会はあります。ヨーロッパの文化はキリスト教とともに育まれたもの。当地へ旅するとき、教会とキリスト教の知識があるとないとでは、体験の深さが数倍違ってきます。そして教会行事に音楽は付きもの。現代に生きる私たちは、音楽を娯楽として聴きますが、古い聖堂が建てられた当時、音楽は礼拝やミサなどの儀式で演奏され、そこに集う人々に欠かせない生活の一部でした。このセミナーでは、教会とキリスト教について、そして教会と音楽の関係について、時代背景や人々の暮らしなどと絡み合わせて学びます。実際に教会でどんな音楽が鳴り響いていたかを知れば、次のヨーロッパ街歩きがいっそう重層的な体験となるでしょう！

第1回は、教会そのものについて、歴史と建築様式、音楽との関係を学びます！

◎ 日時： 2018年2月24日(土) 10:00~12:00 (2時間)

◎ 場所： Space 415 (JR・メトロ中野駅より徒歩12分)

◎ 講座内容：

序： 教会とは

「教会って何？」
 「教会の中には何があるの？」

1： キリスト教の変遷

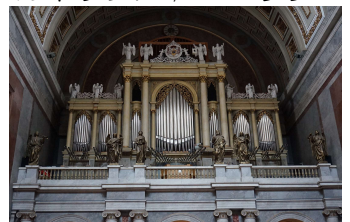
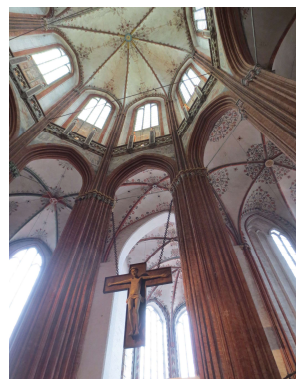
「西方教会と東方教会の違いは？」
 「カトリックとプロテスタントの違いは？」
 キーワード： キリスト教のはじまり / ローマ帝国での公認・国教化
 東西教会の分裂 / イスラム教の成立 / 十字軍 / 宗教改革

2： 建築から見た教会

「教会にはいろんな形があるが、どのように見たらいいの？」
 キーワード： バジリカ型と集中型 / ロマネスク / ゴシック / ルネサンス / バロック
 新古典主義 / 歴史主義 / 近代建築

3： 教会での儀式と音楽

「教会では何が行われるの？」
 キーワード： ミサ / 礼拝 / 聖歌 / パイプオルガン



◎ 講師： 渡邊 温子 (チェンバロ奏者 武蔵野学院大学・大学院非常勤講師)



国立音楽大学、ドイツ・ヴェルツブルグ音楽大学卒。有田千代子、グレン・ウィルソン諸氏に師事。'02年より3年間ワシントンDCに滞在、アメリカ古楽界を牽引する演奏家と共演。現在は演奏活動とともにメールマガジン「月刊バロック通信」や市民講座を通じて古楽の魅力を広める。'16年7月『古楽でめぐるヨーロッパの古都』を上梓。武蔵野学院大学・大学院非常勤講師。タニタ楽器音楽教室チェンバロ科講師。日本チェンバロ協会会員。ブログ：チェンバロ弾きのひとりごと



◎ 参加対象： 高校生以上

◎ 参加費用： お一人様 **3,500円** (税込み)
 ※事前予約・お振込み必要 ※高校生・大学生も同一料金

◎ 申込締切： 2月20日(火)お振込み到着分まで

◎ キャンセル規定： 3日前50%、前々日80%、前日および当日100%

◎ 最少催行人数： 7名様 (最大25名様まで)

◎ お申込・お問合せ： 株式会社アイ・ティ・エス (i Travel Square)
 website: <http://i-travel-square.tokyo/seminar/church-music/>
 email: info@i-travel-square.tokyo tel: 03-6706-4700